

# 東京農業大学総合研究所研究会 特別講演

2022年7月8日(金) 15:00~16:30 ZOOM開催

ウェビナーID: 899 0346 3856 パスコード: 416298 ウェビナーQRコード→

参加費無料・どなたでもご参加いただけます



## ●第1部 15時00分~15時40分 「日本版栄養プロフィールモデル 試案の作成プロセスと妥当性評価」 講師: 石見 佳子 (東京農業大学 教授)

1980年東京理科大学薬学部薬学科卒業、昭和大学歯学部(歯学博士)、国立健康・栄養研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所を経て2019年より現職。専門は食品保健学、骨・カルシウム代謝。

栄養プロファイリングとは、「生活習慣病予防及び健康増進のために、栄養成分に応じて食品を区分またはランク付けする科学」と定義されている(世界保健機関)。諸外国では食品の栄養価を総合的に判断することができるよう栄養プロフィールが活用されているが、我が国では普及していない。そこで我々は「日本版栄養プロフィールモデル」試案の作成に関する基礎的研究を実施した。本講演では、その作成プロセスと妥当性評価について紹介する。

## ●第2部 15時50分~16時30分 「植物の環境ストレス応答と 耐性の獲得機構の解明」 講師: 篠崎 和子 (東京農業大学 教授)

東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了(理学博士)、ロックフェラー大学(博士研究員)、農林水産省国際農林水産業研究センター(主任研究官) / 2004年から東京大学大学院農学生命科学研究科(教授)、2020年から東京農業大学総合研究所(教授)



植物は、旱魃や高温や低温等の環境ストレスに適応するための複雑な分子システムを持っている。我々は、モデル植物のシロイヌナズナを用いて、環境ストレスに対する植物の応答や耐性獲得の分子機構の解明に取り組んできた。主に、ストレス誘導性遺伝子群の機能やこれらの転写制御機構、さらにシグナル伝達機構に焦点を当て、植物の乾燥や温度ストレスに対する応答機構や適応機構を分子レベルで解明してきた。本講演では、これまで我々が行ってきた植物の環境ストレス応答や耐性獲得機構に関する研究とこれらの成果を利用したストレス耐性作物の開発研究についても紹介する。

【主催】東京農業大学総合研究所研究会